

# 平成24年度 事業計画書

ケアハウス大慈

## 1. 《平成24年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

## 2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

## 3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

## 4. 《最終目標》

- みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔。  
(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します。)
- ・生きがい・やりがいを大切にします。
- ・自分らしさを大切にします。
- ・笑顔溢れる温かい雰囲気を大切にします。
- ・みんながしあわせになることを目指します。

## 5. 《中期計画》

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知し、ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る。
- ②スタッフが介護職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持てる。

## 6. 《24年度重点目標》

『ゲストが心豊かな毎日を送れるようにする』  
～いきいきのびのびスマイリー運動～

## 7. 《ケア部門》

### ①ケア理念の周知と実行、スタッフへの教育の強化

- A) ケアの理念を念頭に置き、専門職としての意識を高め、対応能力・観察力・判断力・知識の向上につなげる。
  - ・6ヶ月に1回、フロア会議でケア理念やケアハウス大慈の方向性について話し合う。
  - ・緊急時や事故等の対応や看取りケアについて、施設内研修を月に1回以上実施する。
  - ・ゼミで学んでいる内容（コキヤスタ等）をフロア会議で伝えていく。
  - ・虐待防止を目的とした研修を年に1回行う。

## ②バリデーションの浸透

- A) バリデーション委員会を中心にバリデーションについて学び、実際にケアハウス大慈で使いやすい具体的方法をまとめ、ケアハウス大慈のコミュニケーションスタイルを確立する。
- ・外部研修の参加や講師を招いての勉強会を年に1回実施する。
  - ・ポイント制を導入し、バリデーションの浸透を促す。

## ③余暇活動の充実

- A) ゲストの状態に応じた楽しみを提供する。
- ・全フロアの比較的自立されている方対象の外出行事を6ヶ月に1回実施する。
  - ・各フロアでの余暇活動についてフロア会議で話し合い、月に1回以上実施する。

## ④意見交換の充実

- A) 各会議でスタッフ同士が、率直に意見交換が出来る関係や雰囲気を作る。
- ・効果的な会議の進め方についてリーダーが学び、実行する。
  - ・リーダー・サブリーダーは、コーチング等のリーダーシップに関する研修を年に2回受講する。
  - ・施設内研修でグループワークを行ったり、懇親会を年に2回以上行うことで現場や会議以外でも話し合える機会を作る。

## 8. 《環境整備計画》

畑の横にある敷地の工事を行い、ゲストが散歩やお茶、バーベキュー等を楽しめるスペースを作る。

## 9. 《経営部門》

### <24年度重点目標>

- ケアハウス大慈のチャームポイントをアピールして、充足率97%以上を維持する。

A) チャームポイントを明らかにし、ご家族や各機関に伝える。そのためにパンフレットの内容を見直し、作り直す。

B) 他施設や他事業所と協力し合って、入居者・待機者の確保に努める。

C) 退居者が出た場合は、速やかに次の入居を進める。

## 10. 《栄養科》

### <目標>

- ①おいしく安全で、笑顔になれる食事の提供
- A) 『1日3度の感動を』この言葉に毎日の食事が少しでも近づける様に、創意工夫を行う。
- B) フロア毎の行事や全体行事において、出来る限りのサポートを行い、時には主となって企画立案する。
- C) チェリッシュ委員会を通して、ゲストに合った食事サポートができるよう食事サポートマニュアルを見直す。
- D) 食事時間にユニットへ足を運び、ゲストの要望を聞くことによって、ゲスト個々に合わせた食事が提供できるようにする。
- ②栄養アセスメントの充実
- A) フロア毎のケアカンファレンスに合わせて、食事と体重管理を行い、ゲスト、ご家族、職員の誰が見ても今までの経過が分かるアセスメント表を引き続き作成していく。
- B) チェリッシュ委員会を通して、スクリーニングの重要性を伝える。
- C) 他職種と連携を図り、情報交換を行う。

### ③厨房の新体制の確立

- A) 委託栄養士と協力して、厨房のタイムテーブルを作成し、業務の効率化を図る。
- B) ゲストの声を厨房に伝え、より良い食事が提供できるよう話し合う事を継続する。

## 1 1. 《看護部》

- ゲストが心豊かな生活が送れるよう、看護師としての役割を果たす事が出来る。
- ①医師・フロアリーダー・ケアワーカー・理学療法士・栄養士・相談員などの他職種との連携を強化し、有効な情報交換を行うことでゲストのニーズに応えることができる。
- ②記録類の記載の充実を図ること及び業務整理を行うことにより現看護部の問題点の把握と評価を行い、より質の高い看護へとつなげる。

### <年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線・採血
6月・7月	スタッフ定期検診（全職員）	胸部X線・採血・検尿・検便・心電図 腰椎X線（CWのみ）
11月・12月	ゲスト・全スタッフ	インフルエンザ予防接種
1月	職員定期検診（CWのみ）	採血・腰椎X線

### <往診・受診>

曜日	午前・午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	平山尚哉	歯科	毎週
火	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	隔週
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
金	午後	森 啓行	糖尿内科	毎週

## 1 2. 《機能回復訓練部》

ケアハウス大慈における機能訓練士の理念に則して、ゲストの全人的苦痛を可能な限り取り除き、QOLを高める為一人ひとりが求めている生活への思いを実現できるようサポートしていく。また、他スタッフと連携をより深め、情報の共有・事故防止などをチームでのケアを進めていく。

### <実践目標>

- ①身体的疼痛の除去（＃1、4）
- ②ゲストのADLの維持・向上（＃1～3、5）
- ③介護予防の実践（＃1～3、5）
- ④事故防止に向けてのリスク管理（＃5、6）
- ⑤ケアプラン・目標の共有（＃7）
- ⑥施設内研修会の計画・実施（＃8）
- ⑦地域での介護予防の実施

### <実践内容>

- ＃1 個々の状態に合わせた評価・計画立案・機能訓練・目標設定・モニタリングの実施。
- ＃2 定期的な客観的ADL評価、及び身体機能評価の実施。
- ＃3 運動療法・物理療法の実施

- # 4 福祉用具および居住環境の調整
- # 5 バリテーションの実施
- # 6 スタッフへの情報提供および介助方法の指導
- # 7 ケアカンファレンス、F S会議等への出席
- # 8 事業計画に則り、スタッフの資質向上に資する研修会の実施
- # 9 月1回の体操教室の実施

### 1 3. 《ケアハウス大慈の特徴》

#### ①入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態やお好みによって、選んで頂ける様に  
する。入浴回数や時間についても、出来る限りご希望に添えるようにする。（週2回以上）

#### ②排泄

出来るだけトイレを使ってご自分で出来るようにサポートする。ゲストの個々の状態に合わせた  
サービスを行う。

#### ③食事

ダイニングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を  
提供する。ご自分のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊  
くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしている。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッ  
チンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

#### ④生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントをしたり、職員と外出する機会を持つ等、個別の希望に合  
わせて行っている。

畑の野菜等を収穫し、レストランにてバイキング形式で食事を提供する。

にぎり寿司パーティーや焼き肉パーティーを年に1回ずつ行う。

気候の良い時期には、花鳥園や水族園等に外出する。

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・メイクセラピー等を実施する。

夏祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただく。

#### ⑤その他

レストランや美容室等の設備が充実している。

生きがいデイサービスの場として等、地域の方にレストランを提供している。

職員配置をゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っている。

### 1 4. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	正副施設長会議	大慈な会議	F S会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会	

### 1 5. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）

### 1 6. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速で確実な対応を行う。

### 1 7. 《委員会活動》

	内 容
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにするを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。

	内 容
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	偶数月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園行事委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

	内 容
委員会名	バリデーション委員会
頻度・時間等	毎月1回 16時15分～17時45分
目的・内容	バリデーションをケアハウス大慈でのコミュニケーション法の基本として、スタッフ全員が活用できるようにする。

	内 容
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携を図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施（月1回） B) 消火器、自動火災通報装置の使用方法等、防災教育の実施

	内 容
委員会名	感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第一月曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。

	内 容
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月最終水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書の検討・マニュアル作成をしていく。

	内 容
委員会名	マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月第四木曜日 16時15分～17時45分

目的・内容	職員のマナーアップを目的としており、その為実践する方法を提案する。
-------	-----------------------------------

	内 容
委員会名	エコ・節約委員会
頻度・時間等	不定期
目的・内容	節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし、節約に取り組む。

	内 容
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	奇数月第一金曜日 16:15~17:45
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、介助等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

	内 容
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期
目的・内容	排泄について話し合いゲストが心地よく過ごせるための改善方法を提案・実施していく。

\*人事委員会・事業戦略推進委員会については、大慈園と合同で実施。

#### 18. 《月行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	毎月1回
メイクセラピー	毎月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回

#### 19. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見	10月	遠足
5月	外食ツアー	11月	外食ツアー
6月	外出行事	12月	クリスマス会、餅つき
7月	七夕	1月	新年会、鏡開き
8月	夏祭り	2月	節分、バレンタインデー
9月	敬老の日	3月	雛祭り・にぎり寿司

#### 20. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援専門員	看護職員（非常勤含）
1名	1名	1名	2.5名	4名
管理栄養士	事務員	介護職員（正職）	介護職員（パート）	機能回復訓練士
2名	2名	32.5名	23名	1名

